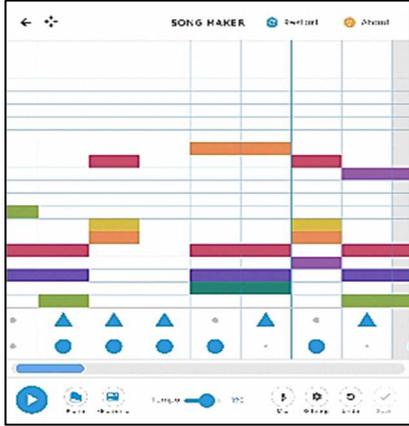
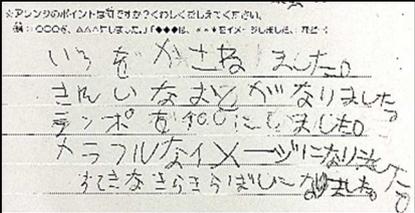


## 教材・支援機器活用実践事例【ICT】

## 表現活動の幅を広げるための ICT 活用 「ICT を使ったアレンジ（編曲）活動」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校 高等部 2年(重複障がい学級)
	障がい名等	病弱
	子どもの実態 (学习上又は生活上の困難さ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの生徒も音楽は好きであるが、自己表現が苦手な生徒が多い。</li> <li>・身近自立している生徒から支援が必要な生徒まで、実態差が幅広く、楽譜を読むことは難しい。</li> </ul>
授業について  (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	音楽
	単元(題材)名	「ソングメーカーを使って『きらきら星』をアレンジしよう」
	単元(題材)の概要	Song Maker を使って、『きらきら星』の旋律を自分なりにアレンジする。
教材・教具 支援機器について	教材・教具 支援機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音の動きが表と色で表示され、色を縦に重ねることで和音を作ることも可能。</li> <li>・リズム伴奏は●▲で表示され、楽器の音色を変えられる。</li> <li>・速度や小節数、拍子や調も、設定で変更できる。</li> </ul>   
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○簡単な曲のアレンジを通して、自分なりの表現の楽しさを知る。</li> <li>○友達の作品を鑑賞することで、様々なアレンジのよさを感じる。</li> </ul> <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入で、自由にアプリを使ってみる時間を設定したことで、抵抗なくアレンジに取り組めるようにした。</li> <li>・発表は作品をモニターに映して視覚と聴覚で鑑賞する。</li> <li>・アレンジポイントを提示してから発表することで、鑑賞する側も観点を絞って鑑賞できるようにした。</li> </ul>
	材料・作成方法等	タブレット端末、Song Maker (Chrome Music Lab)
子どもの変容や評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現活動に抵抗のある生徒でも、質の高いアレンジができた。</li> <li>・「1マス空けて重ねるといい音になる(3度の和音)」など、視覚的に捉えることで和音の構造を理解できた生徒もおり、それをモニターに映して共有することで、学びを集団で深められた。</li> </ul>	